



ホッピーだより No. 439

2021 年 6 月 1 日発行

むかわ町穂別博物館

〒054-0211 北海道勇払郡むかわ町穂別 80-6
Tel 0145-45-3141 HP(<http://www.town.mukawa.lg.jp/1908.htm>)
Facebook([@HobetsuMuseum](https://www.facebook.com/HobetsuMuseum))

きぞうしりょうしょうかい 2020 年度の寄贈資料紹介 (2/2)



おおゆうばり
大夕張産パキデスモセラス
寄贈：堀田良幸（むかわ町穂別）
から
殻直径約 1 m の標本です。



堀田邸からの運び出し。



穂別産パキデスモセラス

寄贈：武田隆治・栗原健一（むかわ町穂別）

殻直径約 1 m の標本です。発見・回収の様子は
栗原ボランティアの YouTube チャンネル「化石
はつくつ
発掘栗けんチャンネル (<https://www.youtube.com/channel/UCLoDkK0a9le1T6izeeg1rsg>)」で紹介されています。

穂別産パキデスモセラス

寄贈：堀田良幸（むかわ町穂別）

いくつか割れていますが、殻
直径約 1 m の標本です。



穂別博物館に 2 点しかなかった 1 m 級のアンモナイトが 3 点寄贈されました。展示だけでなく、調査
研究での活用も期待されます。貴重な資料のご寄贈に感謝いたします。

カムイサウルスのこれまで④



2012年5月に発見されたより胴体に近い尾椎骨

堀田氏が発見した恐竜化石は13個の尾椎骨が関節したものでした。つまり、肉付きの尾が海に沈み、その場で骨のみが化石となったものでした。陸上で生きていた恐竜の尾だけが海に流される可能性は小さいので、恐竜全身の腐敗が大きく進む前に、胃・腸に腐敗ガスがたまって浮力を得たまま海まで流された可能性が高いと思われました。このように考えると、尾椎が発見された場所に「恐竜の全身骨格」が残されている可能性が出てきました。

尾椎骨以外の残りの部分が発見現場に残されていないかを再確認するために、2011年11月と2012年5月に現地調査を行いました。そして、これまで発見されていたものと比べて、より大きく、より胴体に近い尾椎骨が発見されました。つまり、この場所に恐竜の全身骨格が保存されていることがより現実的になりました。

学芸員 西村智弘



2012年5月の調査



小林快次 准教授（当時）と尾椎骨化石（2012年2月）

むかわ町穂別博物館

開館時間 9:30 ~ 17:00
(最終入館 16:30)

観覧料	大人	小学生～高校生
個人	300 円	100 円
団体 (10名様以上)	200 円	50 円

小学生未満：無料

むかわ町の小学生～高校生：無料

2021年6月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

■ 休館日 ■ 臨時休館

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一度に観覧できる観覧者の上限は40名とし、混雑時には入場制限を行う場合があります。また、告知期間の長さに関わらず臨時休館になる場合もあります。ご了承ください。

